

川越市立博物館

気軽に 楽しく 役に立つ 博学連携

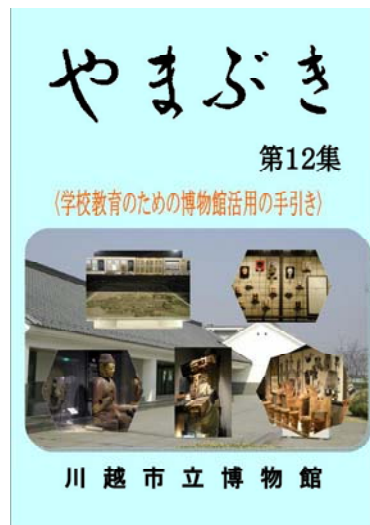
「博物館利用研究委員会の実践をととして」

【博物館利用研究委員会の実践】

川越市立博物館の、学校教育との連携の特徴として、博物館に指導主事を配置するとともに、博物館利用研究委員会の活動があげられる。この博物館利用研究委員会は、博物館設立準備段階から組織され、開館以来20年にわたり、学校の教育課程に位置付けた博物館活用や、地域の歴史、文化財の効果的な活用の研究と実践を行っている。具体的には、学校教育との連携に視点を当てた、各教科・領域等で活用できる学習指導案や学習シートの開発とその実践を行っている。

委員会は、各委員の専門性を生かして、国語・社会・生活・英語・音楽・図工美術・総合的な学習の時間で研究部を組織している。平成11年には、環境、郷土、国際理解、情報という現代的課題に即した部会を編成し、研究・実践に取り組んだ。また、研究した取組は、研究集録「やまぶき〈学校利用のための博物館活用の手引き〉」にまとめ、市内各校に配布している。現在では、博物館ホームページ上に児童生徒用・教員用に分け掲載され、誰でも活用することができる。この他にも、図工・美術研究部を中心として、「わたしたちの川越を描く美術展」の作品審査を行っている。

平成19・20年度は、「コンピュータによる博物館資料を活用した学習指導の在り方」を研究テーマとし、児童生徒が主体的に学習に活用できると同時に、教員の指導資料としても活用できる教材を開発した。これは、展示資料だけでなく多数の収蔵資料を、博物館ホームページ上にある資料検索システムを活用することにより、博物館資料の理解と学校教育の博物館資料の活用を促すものである。さらに、委員による授業研究会を実施し、その成果を市内教員向けに研修会を開催し、発表した。



【学校との連携事業の実際】

川越市立博物館では、博物館利用研究委員会の活動以外にも、学校との連携をすすめるために、以下の取組を実施している。

①バスを配車した博物館学習

博物館へのアクセスの改善を図るため、市内小中学校へバスを配車した博物館学習を行っている。平成20年度の利用状況は、小学校3年生が33校3,454人、小学校6年生が27校2,567人、中学校が3校331人、のべ56台のバスを配車し6,352人の児童生徒が来館し、展示資料を活用した博物館学習を実施することができた。



【成果と課題】

○教育課程に位置付けた博物館活用の効果的な実施には、教員が事前に来館し、打合せを行うことが不可欠である。これによって、活用する学校のねらいや思いなどを聞き取りについて検討し、効果のある連携事業につながっている。

○学校にもプラス、博物館にもプラスになることを基本に、連携によって生み出される新しい価値を互いに共有するという姿勢で学校教育を支援しているため、博物館に親しみ、生涯にわたって自らの学習のために博物館を活用できる子どもの育成につながっている。

○新学習指導要領のねらいに沿った、学校利用のための博物館活用の手引き「やまぶき」を作成し、多くの学校及び児童生徒に活用され、連携を推進していきたい。

○学校の意見を積極的に取り入れながら、現在ある博物館活用の学習プログラムの充実を図り、学校との連携事業をさらに継続・発展していきたい。

《施設データ》

館 名 : 川越市立博物館

所在地 : 〒350-0053

川越市郭町2-30-1

電 話 : 049-222-5399

FAX : 049-222-5396

設置年 : 平成2年3月

設置主体 : 川越市教育委員会

ホームページ : <http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/>

入館者数 : 平成20年度 94,818人

